

# 第60期 決算データ分析資料

## 令和4年(2022)12月期 第3四半期

発行元: **トラスコ中山株式会社** 証券コード:9830(「苦は去れ」と覚えてください)  
経営管理本部 経営企画部 広報IR課

〒105-0004  
東京都港区新橋四丁目28番1号 トラスコ フィオリートビル10F  
TEL:03-3433-9840 FAX:03-3433-9881  
E-mail: info@trusco.co.jp

# 目次

## 第60期 令和4年(2022)12月期 第3四半期

P5-9	A 全社経営成績
P10-19	B 販売実績
P20-25	C 財務等実績
P26-33	D 各種 重要指標
P34-37	E 第60期 経営計画
P38-41	F ESG情報
P42-45	G 参考資料

本資料には、将来の業績見通しおよび事業計画に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社は現時点での最新情報に更新する義務を負っていません。

# 会社概要

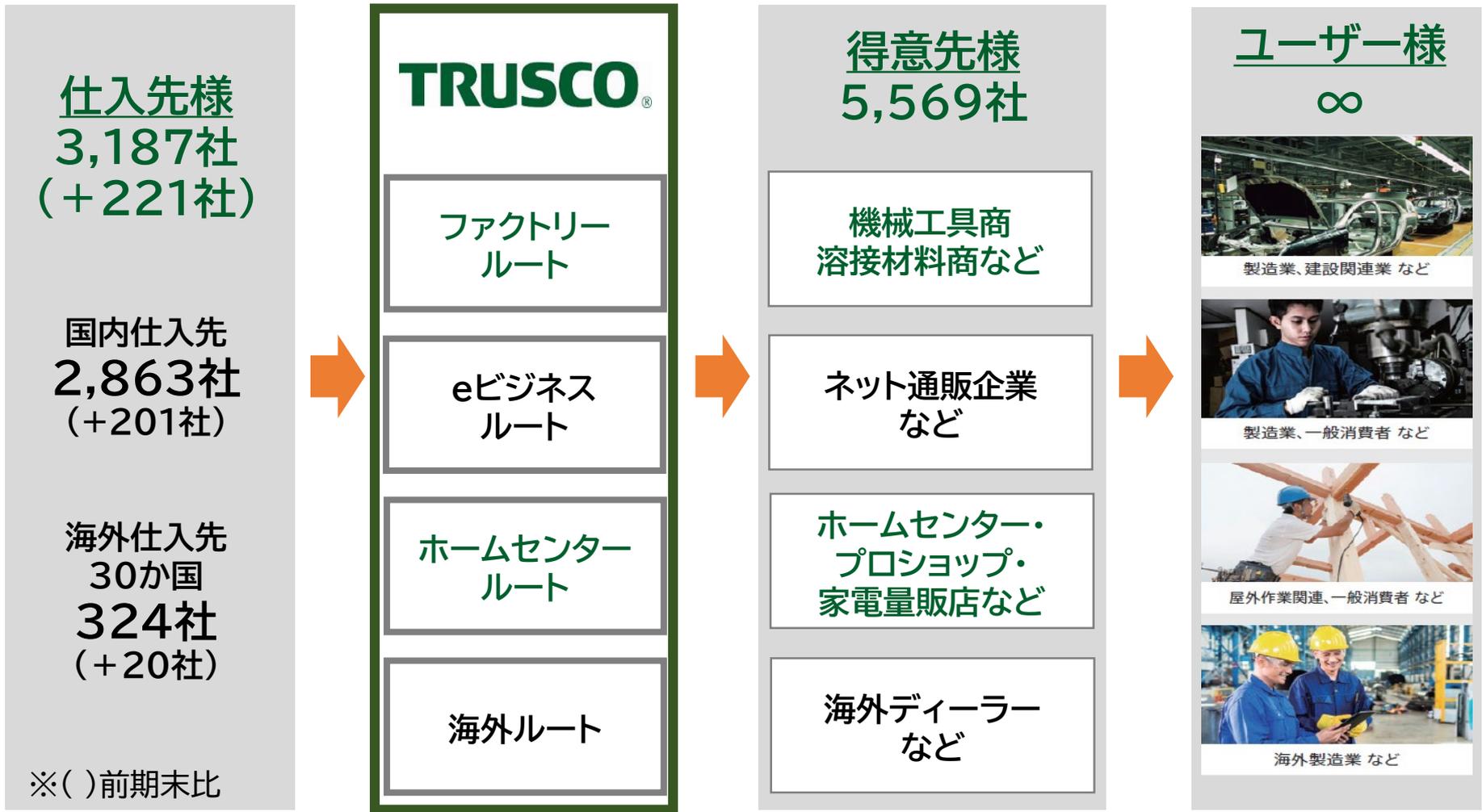
創業	昭和34年(1959)5月15日
代表者	代表取締役社長 中山 哲也 公益財団法人 中山視覚福祉財団 理事長 全日本機械工具商連合会 副会長 大阪機械器具卸商協同組合 理事長
本社事務所	東京本社(東京都港区・本店登記) 大阪本社(大阪市西区)
拠点数	計94か所 国内拠点89か所(本社2か所、国内営業拠点59か所、国内物流拠点28か所) 海外拠点5か所(現地法人:トラスコナカヤマ タイランド、トラスコナカヤマ インドネシア、 仕入先開拓オフィス:ドイツ、台湾、タイ)
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証プライム(証券コード:9830)
従業員数	2,987名【連結】
格付状況	A(株式会社格付投資情報センター)
事業内容	機械工具、物流機器、環境安全用品をはじめとしたプロツール(工場用副資材)の卸売業 及び自社ブランドTRUSCOの企画開発

## ■企業メッセージ

「がんばれ!!日本のモノづくり」®

# ビジネスフロー

当社はプロツールを仕入先様から仕入れ、機械工具商やネット通販企業、ホームセンターなどの得意先様へ販売する専門商社です。当社を介することで、プロツールを日本中のモノづくり現場へ、早くスムーズに、確実にお届けすることができます。卸(問屋)に徹し、得意先様・仕入先様及びユーザー様の利便性を向上させる独自のビジネスモデルを構築しています。



**TRUSCO**<sup>®</sup>

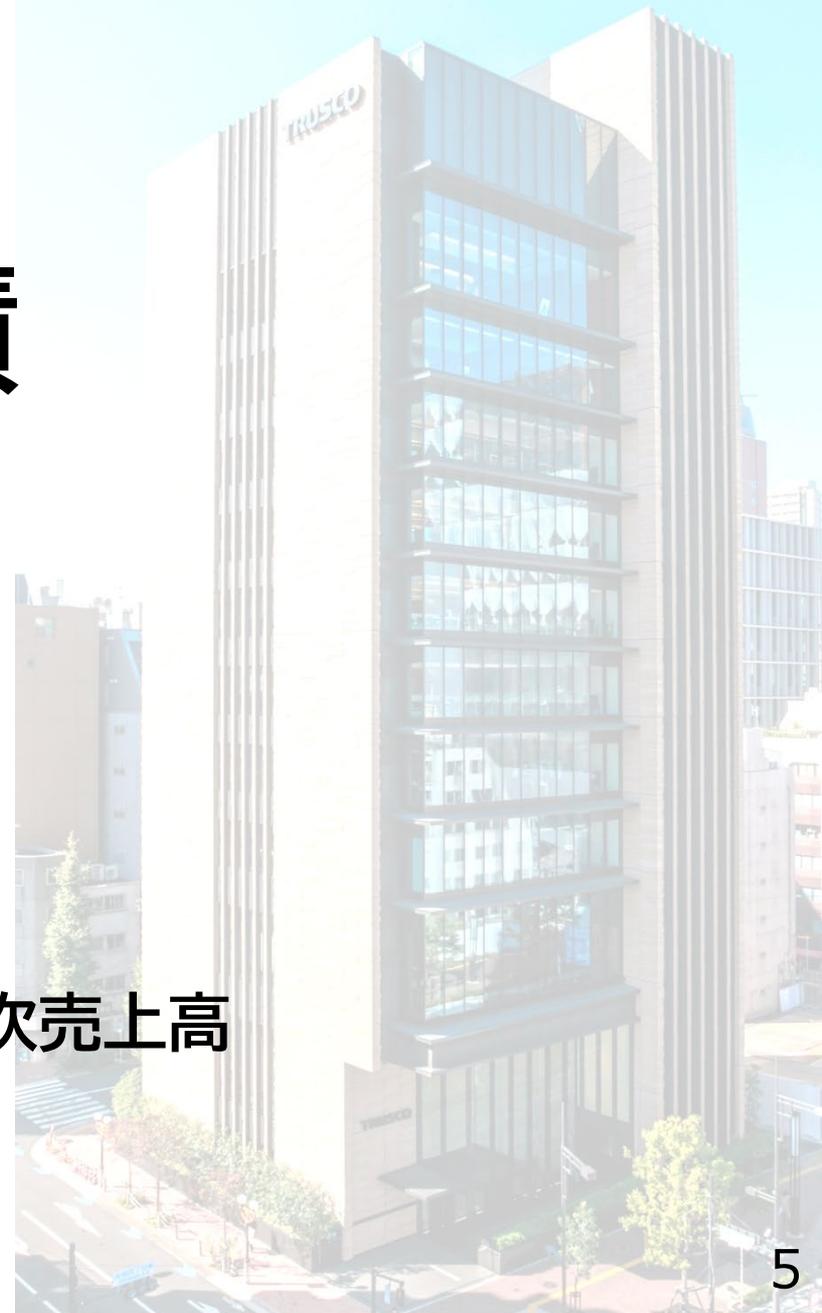
# A. 全社経営成績

P6 A-1. 決算ハイライト

P7 A-2. 【連結】経営成績

P8 A-3. 【連結】月次売上高

P9 A-4. 【連結】セグメント別月次売上高



# A-1.決算ハイライト

## ■第1四半期～第3四半期の実績について

- ・資源価格の上昇や商品の欠品が増す中、継続的な在庫拡充を実施することにより、機会損失を最小限にとどめた。
- ・ユーザー様直送サービスを強化し、注文集約が進んだ。
- ・従業員の生活支援のため、約5億円の臨時賞与支給などにより、販売費及び一般管理費が増加

## ■販売費及び一般管理費の主な増加項目

① 従業員給料及び賞与	前年同期比+8億03百万円(+9.9%) 生活支援ボーナスの支給+5億12百万円、パート給料及び賞与+2億22百万円(生活支援ボーナス除く) 仕事の効率化による社員残業代の削減等△36百万円
② 支払手数料	前年同期比+4億40百万円(+27.2%) HACOBUne構想+1億41百万円、保守点検費+82百万円 など
③ 運賃及び荷造費	前年同期比+6億31百万円(+12.7%) 出荷個数増加+4億84百万円 うちユーザー様直送増加+2億62百万円
④ その他増加分	水道光熱費:電気代高騰+94百万円、旅費交通費:出張費+60百万円 など

## ■第4四半期の見通しについて

- ・引き続き、全社的な経費削減を実施
- ・通期予算は修正せず、売上高増加を含めての予算達成を目指す

## A-2.【連結】経営成績

	令和3年(2021)12月期 通期		令和4年(2022)12月期 第3四半期				令和4年(2022)12月期 通期	
	実績	率	実績	率	前年 同期比	予算比	予算	前年比
売上高	2,268億33百万円	—	1,809億24百万円	—	+8.4%	+0.4%	2,435億00百万円	+7.3%
売上総利益	476億70百万円	21.0%	377億55百万円	20.9%	+6.9%	△0.1%	517億20百万円	+8.5%
販売費及び 一般管理費	346億73百万円	15.3%	286億21百万円	15.8%	+11.1%	+2.9%	374億70百万円	+8.1%
(うち減価償却費)	69億29百万円	3.1%	50億19百万円	2.8%	△2.4%	△0.5%	68億53百万円	△1.1%
営業利益	129億97百万円	5.7%	91億34百万円	5.0%	△4.5%	△8.4%	142億50百万円	+9.6%
経常利益	135億55百万円	6.0%	94億00百万円	5.2%	△6.3%	△8.0%	146億00百万円	+7.7%
親会社株主に 帰属する 当期(四半期)純利益	115億96百万円	5.1%	64億70百万円	3.6%	△13.7%	△7.1%	99億60百万円	△14.1%
1株当たり 当期(四半期)純利益	175円86銭	—	98円12銭	—	—	—	151円04銭	—
PB売上高	434億45百万円	19.2%	341億14百万円	18.9%	+5.0%	△2.2%	466億26百万円	+7.3%
設備投資額	87億99百万円	—	36億49百万円	—	—	—	43億38百万円	—

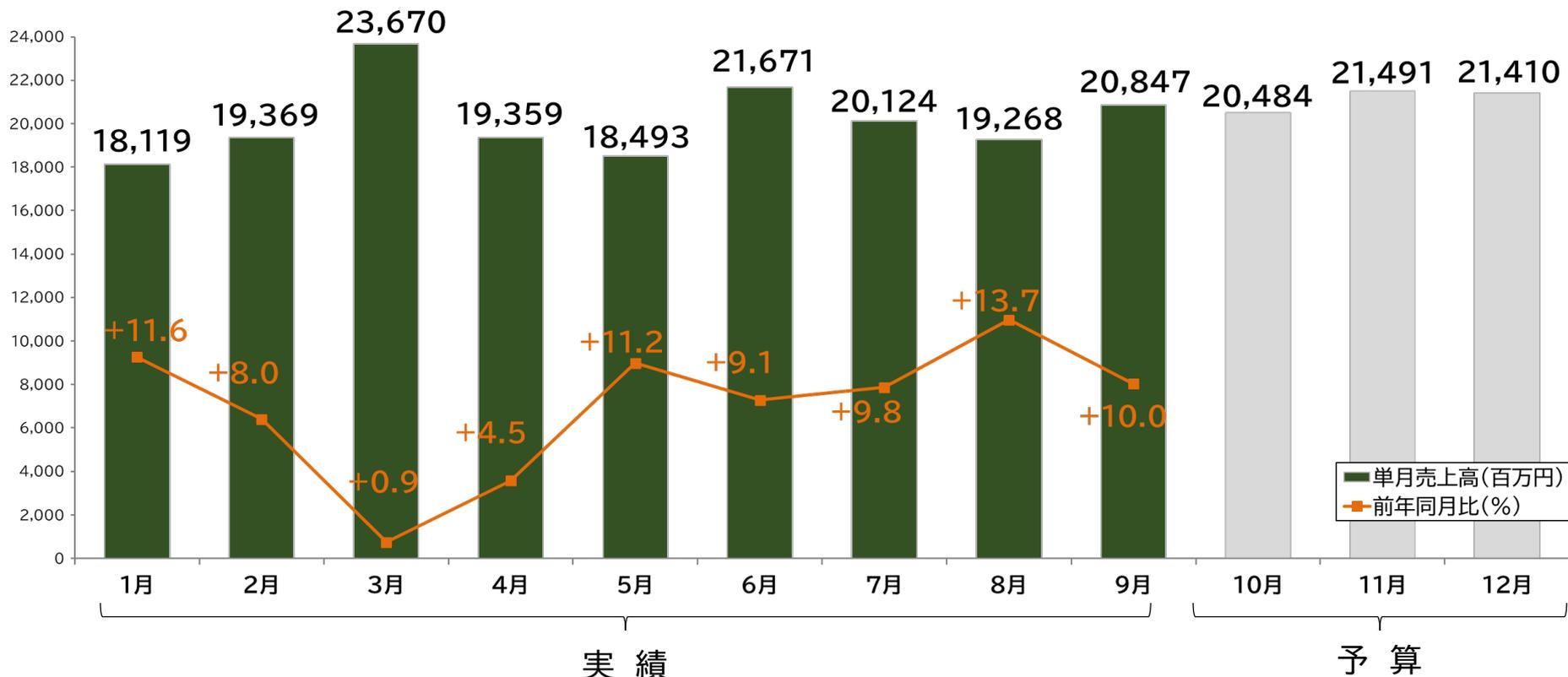
令和3年12月期の各数値については、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。

令和3年12月期には不動産の売却を行ったため、約34億円が特別利益として計上されています。

# A-3.【連結】月次売上高

※令和4年4月1日より、休日をカレンダー通りに変更したため、8月、12月の営業日数が前年と比較し増加しております。

製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため、当社は1日当たりの売上高を重要視しております。また、多くの企業の決算月である3月は売上高が大きい繁忙期となっています。

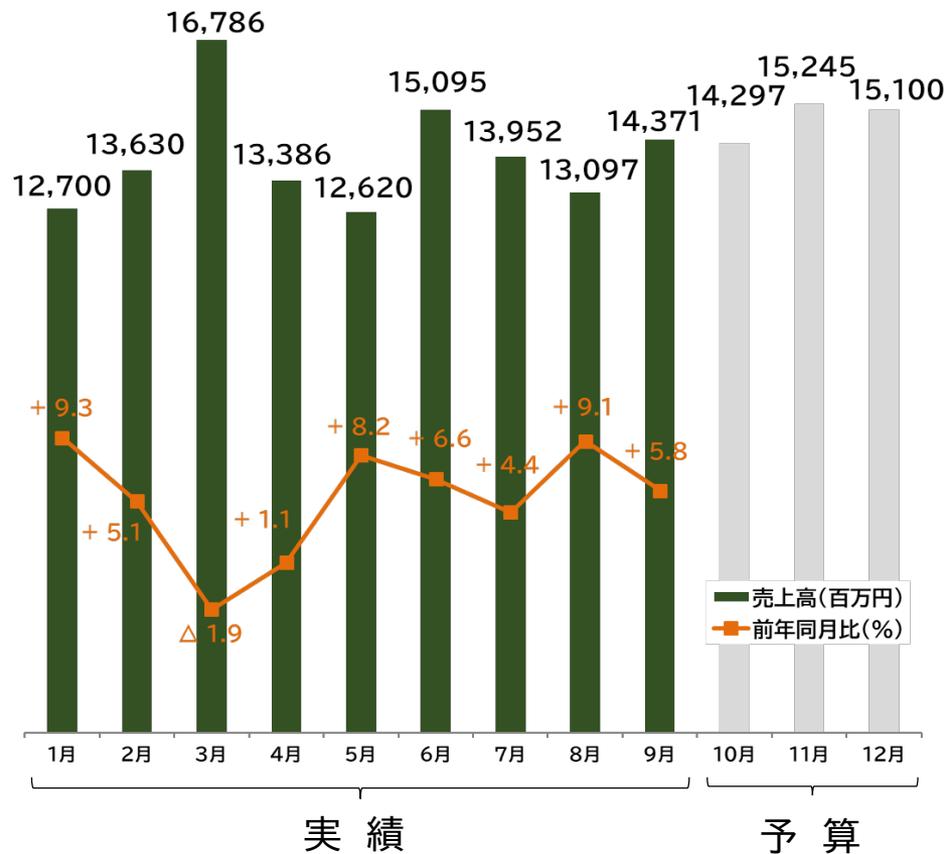


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
営業日数(日)	18	18	22	20	19	22	20	22	20	20	20	22	243
前年同月比(日)	±0	±0	△1	△1	+1	±0	±0	+3	±0	△1	±0	+2	+3
1日当たり売上高(百万円)	1,006	1,076	1,075	967	973	985	1,006	875	1,042				

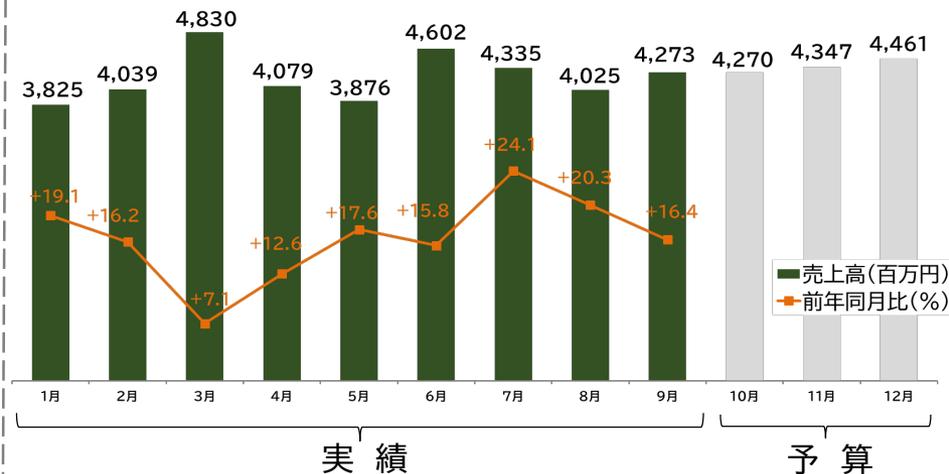
# A-4.【連結】セグメント別月次売上高

※令和4年4月1日より、休日をカレンダー通りに変更したため、8月、12月の営業日数が前年と比較し増加しております。

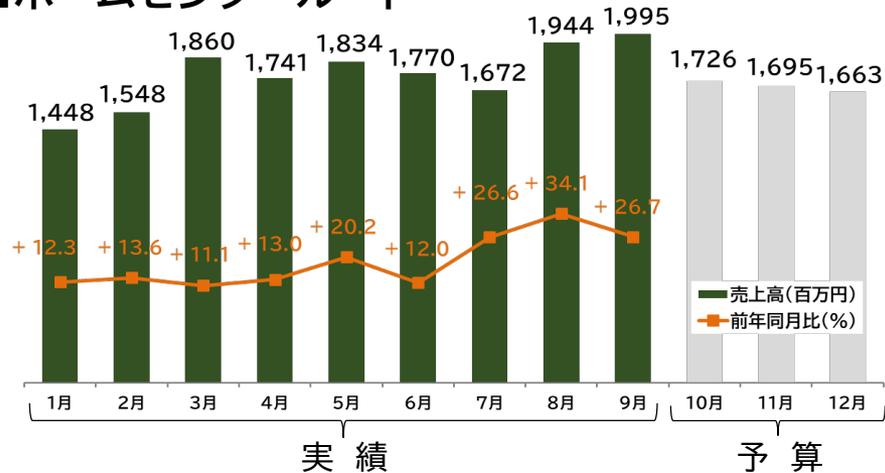
## ■ファクトリールート



## ■eビジネスルート



## ■ホームセンタールート



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
営業日数(日)	18	18	22	20	19	22	20	22	20	20	20	22	243
前年同月比(日)	±0	±0	△1	△1	+1	±0	±0	+3	±0	△1	±0	+2	+3



**TRUSCO**<sup>®</sup>

# B.販売実績

P11 B-1.【連結】セグメント別実績

P12       ・ファクトリールート

P13       ・eビジネスルート

P14       ・ホームセンタールート

P15       ・子会社業績

P16 B-2.【親単体】売上分析

P17 B-3.【親単体】商品分類別売上高増減グラフ

P18 B-4.【親単体】商品分類別売上高

P19 B-5.【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品売上高



## B-1.【連結】セグメント別実績

	令和3年(2021)12月期			令和4年(2022)12月期 第3四半期								令和4年(2022)12月期 通期予算	
	売上高		売上 総利益率	売上高					売上総利益率		売上高		
販売ルート	実績	構成比	実績	実績	構成比	前年同期比	予算	予算差額	予算比	実績	前年 同期比	予算	前年 同期比
ファクトリー ルート	1,623億79百万円	71.6%	20.5%	1,256億41百万円	69.5%	+5.0%	1,271億38百万円	△14億96百万円	△1.2%	20.7%	+0.1pt	1,717億82百万円	+5.8%
eビジネス ルート	443億93百万円	19.6%	23.5%	378億88百万円	20.9%	+16.2%	370億18百万円	+8億69百万円	+2.3%	22.1%	△1.7pt	500億97百万円	+12.8%
ホームセンター ルート	183億66百万円	8.1%	18.6%	158億16百万円	8.7%	+18.7%	143億71百万円	+14億45百万円	+10.1%	17.3%	△1.5pt	194億55百万円	+5.9%
海外 ルート	16億94百万円	0.7%	33.0%	15億77百万円	0.9%	+28.4%	15億86百万円	△8百万円	△0.6%	37.0%	+5.1pt	21億64百万円	+27.7%
全社合計	2,268億33百万円	100%	21.0%	1,809億24百万円	100%	+8.4%	1,801億15百万円	+8億09百万円	+0.4%	20.9%	△0.3pt	2,435億00百万円	+7.3%

令和3年12月期の各数値については、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。

# B-1.【連結】セグメント別実績 ファクトリールート

## 業種別売上高

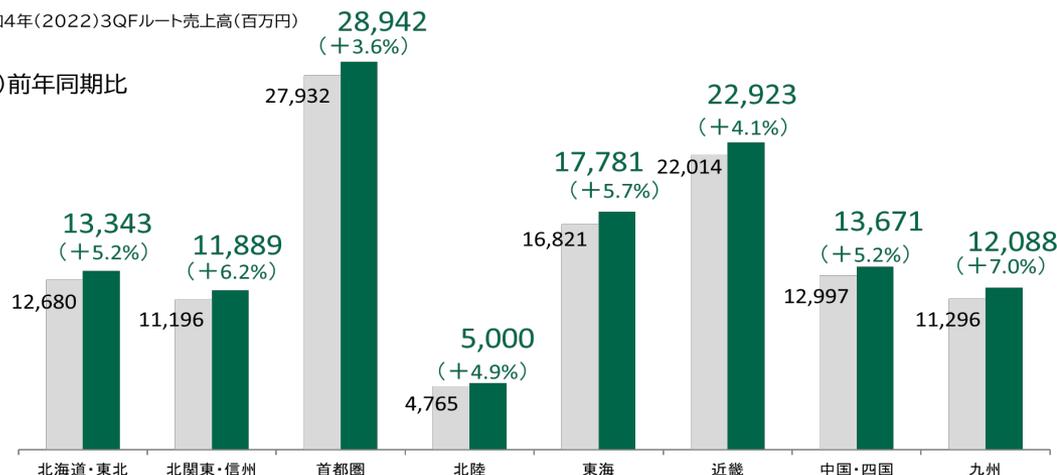
販売ルート	令和3年(2021)12月期 第3四半期			令和4年(2022)12月期 第3四半期				
	売上高		売上 総利益率	売上高			売上 総利益率	
	実績	構成比		実績	構成比	前年 同期比	実績	前年 同期比
機械工具商	606億67百万円	50.7%	20.0%	<b>641億58百万円</b>	51.1%	+5.8%	20.9%	+0.9pt
溶接材料商	168億77百万円	14.1%	21.5%	<b>177億31百万円</b>	14.1%	+5.1%	20.4%	△1.1pt
その他製造業関連 (理化学・伝導機・梱包材商など)	199億60百万円	16.7%	20.5%	<b>206億58百万円</b>	16.4%	+3.5%	20.0%	△0.5pt
建設関連	221億99百万円	18.5%	21.6%	<b>230億92百万円</b>	18.4%	+4.0%	21.2%	△0.4pt
ファクトリールート合計	1,197億04百万円	100.0%	20.6%	<b>1,256億41百万円</b>	100.0%	+5.0%	20.7%	+0.1pt

## ブロック別売上高

■令和3年(2021)3QFルート売上高(百万円)

■令和4年(2022)3QFルート売上高(百万円)

( )前年同期比



## ファクトリールート前年同期比:+5.0%

当社の商品、物流、システムなどの利便性を感じていただき、商流集約のご要望にお応えすることで、売上のベースアップにつながりました。

工場内でいつでも商品調達が可能となる「MROストッカー」や「ユーザー様直送サービス」を強化するなど、環境負荷軽減にもつながる営業活動を実施しました。

# B-1.【連結】セグメント別実績 eビジネスルート

## 業種別売上高

販売ルート	令和3年(2021)12月期 第3四半期			令和4年(2022)12月期 第3四半期				
	売上高		売上 総利益率	売上高			売上 総利益率	
	実績	構成比		実績	構成比	前年 同期比	実績	前年 同期比
通販企業向け	254億50百万円	78.1%	22.8%	294億65百万円	77.8%	+15.8%	21.0%	△1.8pt
オレンジコマース(電子購買) 連携企業向け、MROストッカー	71億50百万円	21.9%	27.4%	84億23百万円	22.2%	+17.8%	26.2%	△1.2pt
<b>eビジネスルート合計</b>	<b>326億00百万円</b>	<b>100.0%</b>	<b>23.8%</b>	<b>378億88百万円</b>	<b>100.0%</b>	<b>+16.2%</b>	<b>22.1%</b>	<b>△1.7pt</b>

### eビジネスルート前年同期比: +16.2%

約298万アイテムに及ぶ商品データベースと物流システムを武器に得意先様のシステム連携を強化し、当社への商流集約が各社で進みました。また各通販企業様のご要望に合わせた物流工程の簡素化、納期短縮による利便性向上も可能となる「ユーザー様直送サービス」により当社へのご注文が大きく増加しました。

## 通販企業向け業種別売上高構成比



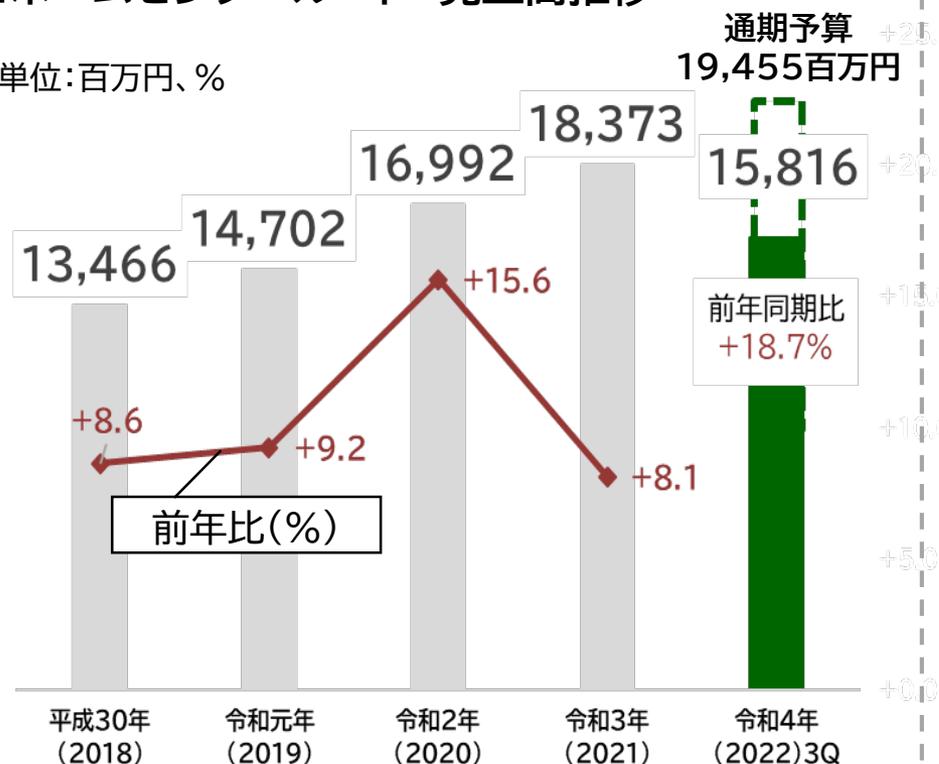
# B-1.【連結】セグメント別実績 ホームセンタールート

## 業種別売上高

	令和3年(2021)12月期 第3四半期		令和4年(2022)12月期 第3四半期			
	売上高	売上 総利益率	売上高		売上総利益率	
	実績	実績	実績	前年 同期比	実績	前年 同期比
ホームセンタールート	133億21百万円	18.8%	158億16百万円	+18.7%	17.3%	△1.5pt

## ホームセンタールート 売上高推移

単位:百万円、%



## ホームセンタールート前年同期比: +18.7%

店舗とECの連携した取組による新規での商品納入権獲得及び商流集約や、当社との親和性の高いプロの職人さんや工員さんをターゲットにした店舗であるプロショップでの売上が増加しました。

当社の約298万に及ぶ取扱いアイテム数と約54万アイテムの即納在庫を活用していただき、店舗の品揃え、ECサイトの充実を図り、引き続き売上拡大を予想しています。

### 【プロショップとは】

プロの職人さんや工員さんが使用する工具などに特化して商品を販売している店舗を指します。当社の取扱商品と親和性が高く、売上高が伸びている販売先様です。

# B-1.【連結】セグメント別実績 子会社業績

## ■単体売上高

	トラスコ中山 親単体				トラスコナカヤマ タイランド				トラスコナカヤマ インドネシア			
	第3四半期実績			通期予算	第3四半期実績			通期予算	第3四半期実績			通期予算
	金額	率	前年同期比	前年同期比	金額	率	前年同期比	前年同期比	金額	率	前年同期比	前年同期比
売上高	1,804億65百万円	-	+8.3%	+7.2%	6億28百万円	-	+18.9%	+26.1%	3億58百万円	-	+59.7%	+20.8%
売上総利益	374億45百万円	20.7%	+6.5%	+8.4%	1億53百万円	24.4%	+23.2%	+32.1%	1億04百万円	29.2%	+86.2%	+29.7%
販売費及び一般管理費	283億84百万円	15.7%	+11.1%	+8.1%	1億21百万円	19.4%	+21.1%	+16.8%	1億14百万円	32.0%	+17.3%	+3.7%
内、減価償却費	49億59百万円	2.7%	△2.6%	△1.2%	18百万円	2.9%	+15.4%	+16.0%	41百万円	11.6%	+17.4%	+1.6%
営業利益	90億61百万円	5.0%	△5.6%	+9.4%	31百万円	5.0%	+32.1%	+124.2%	△10百万円	-	-	-
経常利益	93億88百万円	5.2%	△6.6%	+7.4%	32百万円	5.2%	+36.8%	+120.6%	△0百万円	-	-	-
当期純利益	64億55百万円	3.6%	△14.1%	△14.4%	32百万円	5.2%	+36.8%	+120.6%	△0百万円	-	-	-

## ■【参考】親会社におけるその他海外地域の売上高実績

		売上高	売上総利益
その他海外地域への売上高実績 (フィリピン、中国、韓国など)	実績	5億90百万円	1億61百万円
	率	-	27.3%
	前年同期比	+24.1%	+22.4%

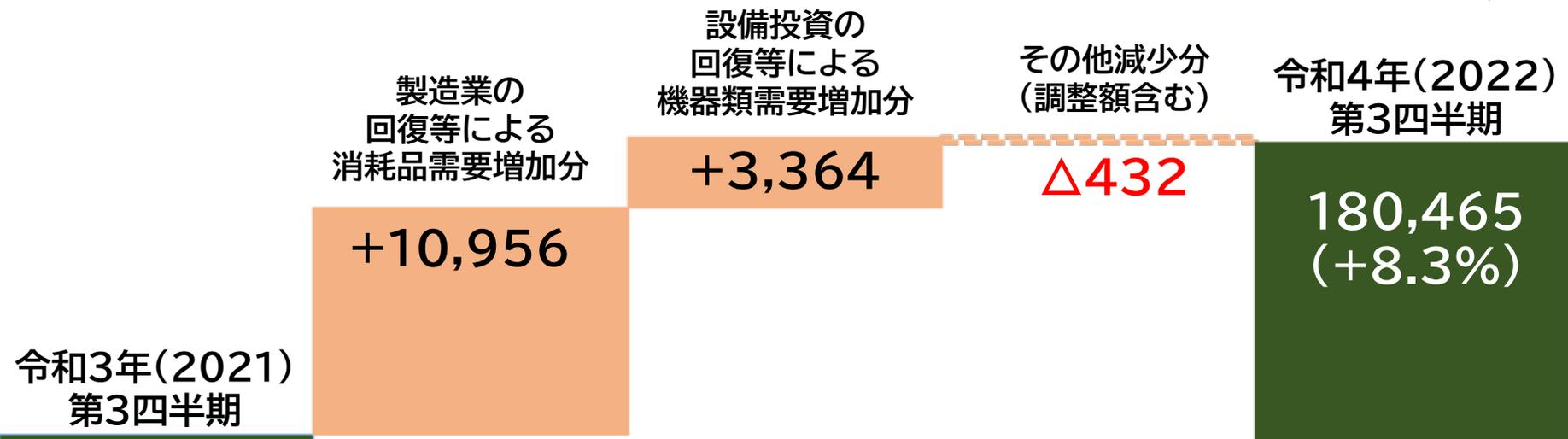
### ■海外ルート前年同期比: +28.4%

タイ、インドネシアにおいては在庫アイテムの見直しにより、納品リードタイムの短縮を実施、またローカル企業の新規得意先様との取引で販売領域を拡大しました。

その他海外地域への販売では、アジア太平洋地域を中心にEC企業様との新規口座開設を行うなど、取引拡大に努めました。

# B-2.【親単体】売上分析

(単位:百万円)



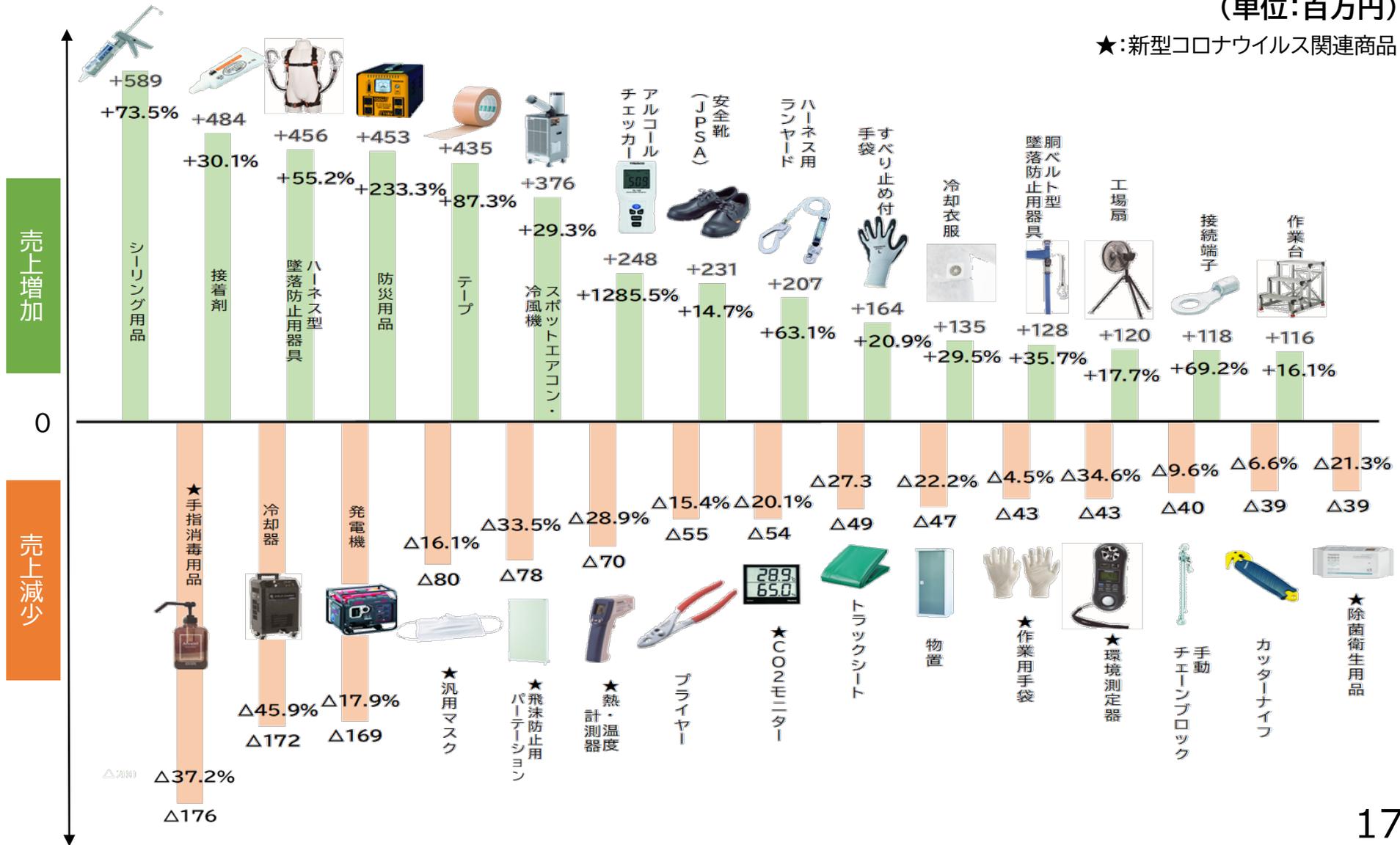
### 《主な内訳》

- 【製造業の回復等による消耗品需要増加分】+10,956百万円
  - ・環境安全用品(安全用品、スポットエアコン等): +3,916百万円
  - ・作業用品(化学製品等) : +3,113百万円
  - ・ハンドツール(空圧工具、手作業工具等) : +1,669百万円
 など
- 【設備投資の回復等による機器類需要増加分】+3,364百万円
  - ・物流保管用品(運搬用品、コンテナ、容器等) : +1,704百万円
  - ・工事用品(接続端子等) : +1,660百万円
- 【その他減少分】△432百万円
  - ・OA事務用機器(ネッククーラー等) : △119百万円
 など

# B-3.【親単体】商品分類別売上高増減グラフ

(単位:百万円)

★:新型コロナウイルス関連商品



# B-4.【親単体】商品分類別売上高

記録的猛暑の影響により、スポットエアコンなどの冷房用品(大分類6)、また墜落制止用器具の着用に関する法改正により、ハーネス(大分類6)の需要が増加しましたが、新型コロナウイルス感染症予防に係る手指消毒用品(大分類6, 8)の需要は一服しました。

(単位：百万円、%)

商品分類 (大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率	商品分類 (大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率	
1. 切削工具	切削工具 計	5,613	3.1	+6.0	15.8	6. 環境安全用品	環境安全用品 計	33,280	18.4	+13.2	21.8	
	① 切削工具	2,767	1.5	-	10.5		㊸ 保護具	17,743	9.8	-	22.5	
	② 穴あけ・ネジきり工具	2,846	1.6	-	20.9		㊹ 安全用品	7,617	4.2	-	25.3	
2. 生産加工用品	生産加工用品 計	13,318	7.4	+4.1	15.4		㊺ 環境改善用品	1,663	0.9	-	18.2	
	③ 測定計測	6,983	3.9	-	15.0		㊻ 冷暖房用品	3,491	1.9	-	13.5	
	④ メカトロニクス	2,814	1.6	-	15.1		㊼ 防災・防犯用品	1,218	0.7	-	19.0	
	⑤ 工作機工具	1,658	0.9	-	22.7		㊽ 物置・エクステリア用品	1,550	0.9	-	21.4	
	⑥ 電動機械	1,861	1.0	-	10.7		7. 物流保管用品	物流保管用品 計	19,981	11.1	+9.1	22.2
	3. 工事用品	工事用品 計	20,777	11.5	+8.6		21.0	㊾ 荷役用品	5,367	3.0	-	17.3
⑦ 油圧工具		1,409	0.8	-	10.6		㊿ コンバヤ	864	0.5	-	15.2	
⑧ ポンプ		2,621	1.5	-	16.1	㊽ 運搬用品	7,727	4.3	-	22.2		
⑨ 溶接用品		1,665	0.9	-	17.7	㊾ コンテナ・容器	3,029	1.7	-	29.0		
⑩ 塗装・内装用品		1,840	1.0	-	25.3	㊿ スチール棚	2,991	1.7	-	26.0		
⑪ 土木建築		1,781	1.0	-	13.0	8. 研究管理用品	研究管理用品 計	7,558	4.2	+3.2	23.0	
⑫ はしご・脚立		2,470	1.4	-	22.2	㊽ ツールワゴン	706	0.4	-	28.6		
⑬ 配管・電設資材		3,346	1.9	-	22.9	㊾ 保管・管理用品	936	0.5	-	31.0		
⑭ 部品・金物・建築資材		5,640	3.1	-	26.2	㊿ 作業台	1,202	0.7	-	33.5		
4. 作業用品		作業用品 計	34,153	18.9	+10.4	21.5	㊽ ステンレス用品	1,453	0.8	-	17.8	
	⑮ 切断用品	1,084	0.6	-	21.4	㊾ 研究開発関連用品	3,258	1.8	-	18.0		
	⑯ 研削・研磨用品	5,425	3.0	-	23.2	9. オフィス住設用品	オフィス住設用品 計	15,843	8.8	+2.7	22.8	
	⑰ 化学製品	17,910	9.9	-	20.5	㊽ 清掃用品	4,679	2.6	-	21.4		
	⑱ 工場雑貨	3,147	1.7	-	15.3	㊾ 文具用品	1,827	1.0	-	18.9		
	⑲ 梱包結束用品	4,371	2.4	-	29.9	㊿ オフィス雑貨	2,351	1.3	-	27.0		
5. ハンドツール	⑳ キャスター	2,216	1.2	-	17.7	㊽ 電化製品	2,553	1.4	-	21.8		
	ハンドツール 計	29,275	16.2	+6.0	18.8	㊾ OA事務用機器	1,408	0.8	-	24.5		
	㊽ 電動工具・用品	7,814	4.3	-	14.1	㊿ 事務用家具	2,818	1.6	-	24.3		
	㊾ 空圧工具用品	4,880	2.7	-	17.9	㊽ インテリア用品	202	0.1	-	19.9		
	㊿ 手作業工具	15,130	8.4	-	20.5	10. その他	㊽ 全体	662	0.4	+92.2	3.4	
	㊽ 工具箱	1,449	0.8	-	28.5	合計	180,465	100.0	+8.3	20.7		

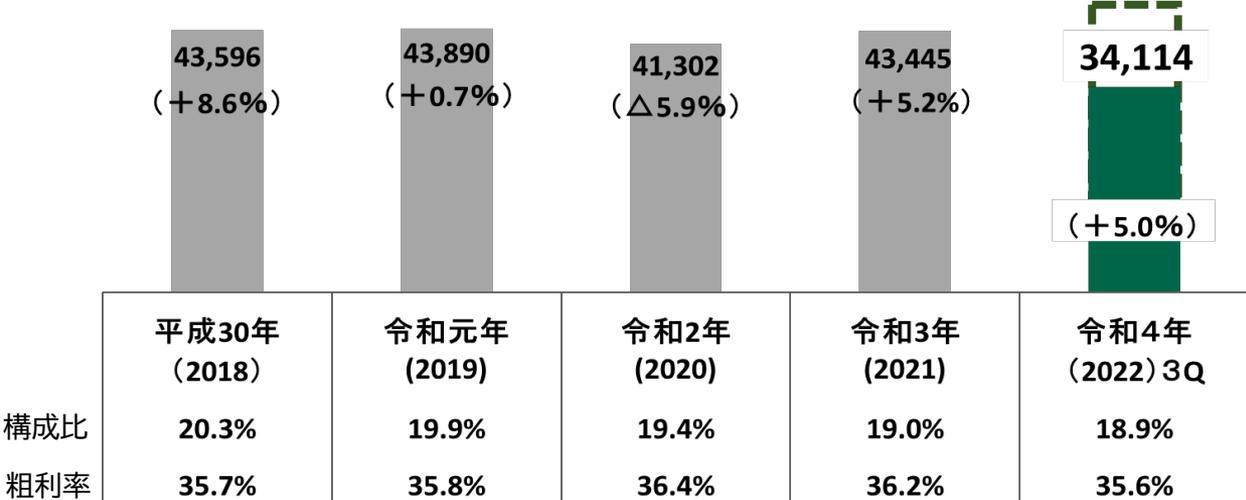
※第60期は「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、中分類の前年同期比につきましては「-」にて記載しております。  
各粗利率は「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で記載いたします。

# B-5.【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品売上高

## Ⅰプライベート・ブランド商品売上高推移 (単位:百万円)

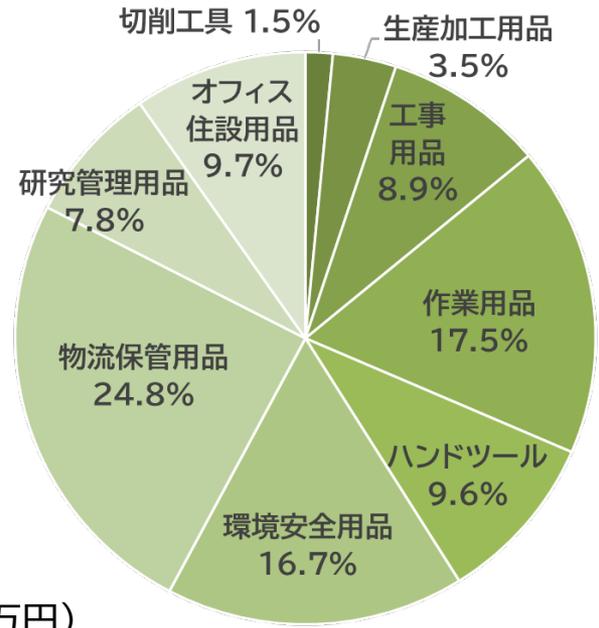
( )前年比

通期予算:466億円



構成比  
粗利率

年次	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022) 3Q
構成比	20.3%	19.9%	19.4%	19.0%	18.9%
粗利率	35.7%	35.8%	36.4%	36.2%	35.6%



## Ⅱセグメント別・商品分類別売上高

(単位:百万円)

セグメント	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比	粗利率	構成比	粗利率	構成比	粗利率	構成比	粗利率
商品分類	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
合計	34,114	+5.0%	24,664	+3.8%	8,405	+7.8%	794	+10.9%
切削工具	518	△0.1%	381	+2.5%	78	△9.9%	49	△4.3%
生産加工用品	1,206	+3.9%	880	+4.2%	291	+3.2%	13	△1.2%
工事用品	3,044	+10.3%	2,175	+9.9%	804	+11.7%	46	+2.6%
作業用品	5,979	+3.1%	4,680	+2.2%	1,189	+6.2%	59	+0.9%
ハンドツール	3,274	△2.5%	2,330	△1.1%	798	△6.2%	91	△0.2%
環境安全用品	5,681	+2.8%	4,193	△0.3%	1,347	+10.6%	127	+42.1%
物流保管用品	8,459	+9.6%	5,907	+8.5%	2,126	+11.4%	379	+14.4%
研究管理用品	2,650	+5.0%	1,897	+1.5%	732	+14.8%	4	+112.6%
オフィス住設用品	3,298	+5.3%	2,218	+4.6%	1,036	+6.8%	20	△29.1%
その他	1	△22.4%	-	-	-	-	1	△22.4%

「プロフェッショナルな技にプロフェッショナルなクオリティで応えたい」という思いから誕生しました。1964年に業界初のプライベート・ブランド(PB)商品として誕生し、工場用副資材のブランドの中で最も幅広く網羅しています。現在は毎年約10,000アイテムのスピードで開発を進めており、さらなるブランド強化に取り組んでいます。



**TRUSCO**<sup>®</sup>

# C.財務等実績

P21 C-1.【連結】販売費及び一般管理費

P22 【連結】販売費及び一般管理費 詳細

P23 C-2.【連結】財務諸表・財務指標

P24 C-3.【連結】設備投資一覧

P25 C-4.プラネット愛知 計画進捗



# C-1.【連結】販売費及び一般管理費

※増減要因の詳細は22ページをご参照ください。

## ■販売費及び一般管理費の主な増加項目

※令和4年通期予想について、給料及び賞与、運賃及び荷造費以外の項目については【親単体】の数値にて記載しています。

勘定科目	令和3年(2021) 12月期	令和4年(2022)12月期 第3四半期		令和4年(2022)12月期 通期	
	実績	実績	前年 同期比	予想	前年比
給料及び賞与	121億59百万円	89億40百万円	+9.9%	123億75百万円	+1.8%
支払手数料	23億21百万円	20億60百万円	+27.2%	25億93百万円	+11.7%
運賃及び荷造費	67億82百万円	56億21百万円	+12.7%	72億31百万円	+6.6%
水道光熱費	3億22百万円	3億26百万円	+40.8%	3億20百万円	△0.8%
旅費及び交通費	4億72百万円	4億10百万円	+17.3%	4億95百万円	+5.0%
販売費及び一般管理費 合計	346億73百万円	286億21百万円	+11.1%	374億70百万円	+8.1%

## ■販売費及び一般管理費の当初予算比での主な削減内容(7-9月)

	勘定科目	項目
取組内容	支払手数料	各種保守点検費などの見直し(△92百万円)
	広告宣伝費	広告費の見直しなど(△26百万円)
	販売促進費	各種カタログの発刊削減(△10百万円)
	給料及び賞与	業務効率化により、一人当たり売上高は前年同四半期18百万円/人から20百万円/人(+7.6%)
今後	支払手数料	各種保守点検費などの見直し(△1億64百万円)
	会議費、接待交際費	社内外のイベント開催費用(△60百万円)

・第3四半期(7-9月)は予算比約1億円の削減、第4四半期(10月-12月)は予算比約3億円の削減を予想

【参考】1-2Q販管費率:16.1% 3Q販管費率:15.2%

・その他項目の削減と売上高の増加、仕入原価交渉などを併せ、通期予算達成を目指す

# C-1.【連結】販売費及び一般管理費(詳細)

(単位:百万円、%)

No.	令和3年(2021)		令和4年(2022)12月期 第3四半期		前年 増減額	前年 同期比	令和4年 (2022) 通期予算	通期予算と 前年実績比
	実績	売上高 構成比	実績	売上高 構成比				
1 給料及び賞与	12,159	5.4	8,940	4.9	+803	+9.9	12,375	+1.8
2 運賃及び荷造費	6,782	3.0	5,621	3.1	+631	+12.7	7,231	+6.6
3 減価償却費	6,929	3.1	5,019	2.8	△124	△2.4	6,853	△1.1
4 支払手数料	2,321	1.0	2,060	1.1	+440	+27.2	2,593	+11.7
5 福利厚生費	2,197	1.0	1,769	1.0	+117	+7.1	2,286	+4.1
6 租税公課	1,379	0.6	1,038	0.6	+32	+3.3	1,343	△2.6
7 賞与引当金繰入額	17	0.0	942	0.5	△0	△0.0	504	+2,807.4
8 旅費及び交通費	472	0.2	410	0.2	+60	+17.3	495	+5.0
9 広告宣伝費	509	0.2	391	0.2	△10	△2.5	546	+7.1
10 通信費	400	0.2	327	0.2	+28	+9.6	430	+7.3
11 水道光熱費	322	0.1	326	0.2	+94	+40.8	320	△0.8
12 消耗品費	472	0.2	323	0.2	△28	△8.1	465	△1.6
13 販売促進費	△843	△0.4	281	0.2	+856	-	337	-
14 借地借家料	337	0.1	270	0.1	+19	+7.8	337	△0.1
15 車両費	269	0.1	218	0.1	+15	+7.7	260	△3.6
16 役員報酬	404	0.2	213	0.2	△4	△1.9	414	+2.4
17 交際費	25	0.0	29	0.0	+13	+79.1	99	+289.3
18 その他	513	0.2	435	0.2	△78	△15.2	578	+12.7

※令和4年通期予算について、給料及び賞与、運賃及び荷造費以外の項目については【親単体】の数値にて記載しています。

# C-2.【連結】財務諸表・財務指標

## ■貸借対照表

(令和4年9月30日現在) 単位(百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
流動資産	120,361	流動負債	51,624
現金及び預金	44,291	買掛金	18,489
売掛金	29,082	短期借入金	17,000
電子記録債権	1,715	1年内返済予定の長期借入金	10,000
商品	44,269	未払金	1,772
その他	1,002	未払法人税等	893
貸倒引当金	△0	賞与引当金	951
固定資産	106,583	役員賞与引当金	99
有形固定資産	97,894	その他	2,418
建物	46,816	固定負債	28,016
機械及び装置	7,141	長期借入金	25,000
工具、器具及び備品	1,567	役員退職慰労引当金	151
土地	38,589	長期預り保証金	2,770
建設仮勘定	1,837	その他	94
その他	1,941	負債合計	79,641
無形固定資産	4,678	<b>(総資産の部)</b>	
ソフトウェア	4,248	株主資本	146,594
その他	430	資本金	5,022
投資その他の資産	4,011	資本剰余金	4,711
投資有価証券	3,305	利益剰余金	136,940
繰延税金資産	246	自己株式	△79
再評価に係る繰延税金資産	155	その他の包括利益累計額	708
その他	313	その他有価証券評価差額金	571
貸倒引当金	△10	土地再評価差額金	△353
		為替換算調整勘定	491
		純資産合計	147,303
資産合計	226,944	負債純資産合計	226,944

## ■キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	令和3年(2021年) 第3四半期	令和4年(2022年) 第3四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,734	9,078	△2,655
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,496	△4,430	△933
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,242	△2,109	+132
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	104	+96
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,003	2,643	△3,360
現金及び現金同等物の期首残高	32,344	41,449	+9,105
現金及び現金同等物の期末残高	38,348	44,093	+5,745

## ■自己資本比率

	令和3年(2021)末	令和4年(2022) 第3四半期	増減
自己資本比率	64.0%	64.9%	+0.9pt

## ■その他財務指標

	令和2年(2020)末	令和3年(2021)末	増減(pt)
ROA(総資産経常利益率)	5.7%	6.3%	+0.6pt
ROE(自己資本利益率)	6.1%	8.4%	+2.3pt

### <ROEに対する考え方>

当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切に、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

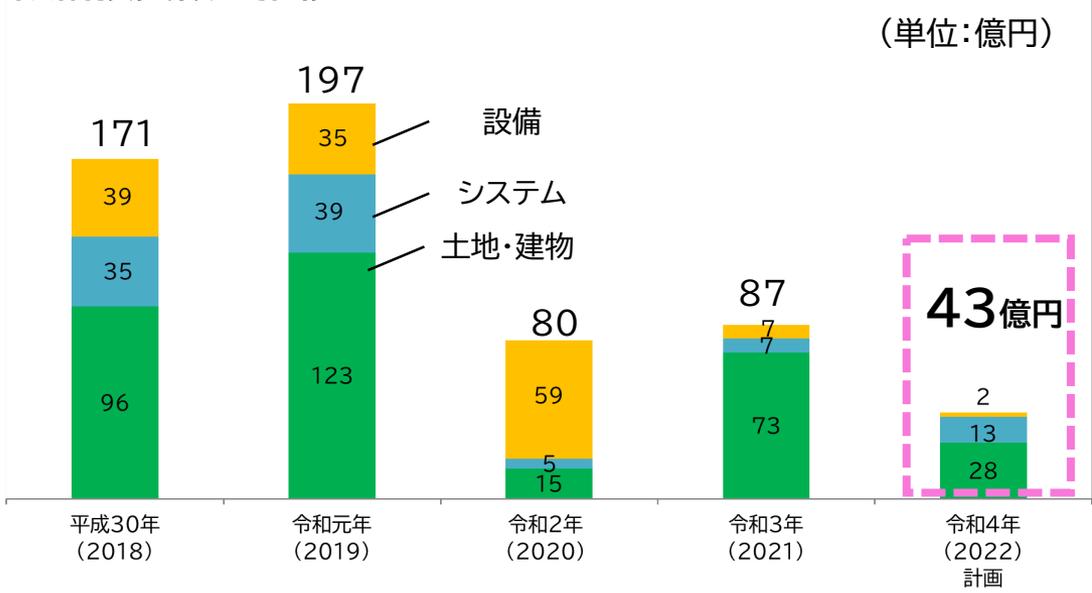
# C-3.【連結】設備投資一覧

## 第60期投資計画:約43億29百万円

(単位:百万円)

令和4年(2022) 主な設備投資 内訳		1Q-3Q投資実績額	4Q投資予定額
システム	商品データベース「Sterra(ステラ)」リニューアル(総投資予定額:13.3億円)	780	533
	仕入先様との業務連携サイト「ポラリオ」改修(総投資予定額:1.4億円)		
	従業員人事システム導入(総投資予定額:0.8億円) など		
建物	プラネット東関東 第2パレット自動倉庫(仮称) 増築工事(総投資予定額:25.5億円)	1,651	731
	堺ストックセンター(大阪) 新築工事(総投資予定額:18.7億円) など		
土地	HC東日本物流センター 移転計画(総投資予定額:85億円)	400	-
設備	プラネット東北I-Pack®仕様変更(総投資予定額:0.2億円)	197	37
	プラネット埼玉パレタイズロボット導入(総投資予定額:1億円)		
小計		3,028	1,301
年間設備投資額		4,329	

### 設備投資額の推移



#### 設備投資額に関して

- ・設備投資予定額には、計画中のものも含まれている為、投資金額は変動する場合があります。
- ・第60期はキャッシュアウトベースの金額にて記載しております。

令和4年(2022)12月期の減価償却費は68億53百万円(前年比△76百万円)を予定しております。

# C-4. プラネット愛知 計画進捗

## ■ プラネット愛知 概要

所在地：愛知県北名古屋市  
 (北名古屋沖村西部土地区画整理事業地)  
 敷地面積: 12,594坪(うち、購入: 6,132坪、借地: 6,462坪)  
 借地料: 月額約570万円  
 土地金額: 約14億円(購入土地のみ)  
 今期投資予定額: 約1.5億円(建物)  
 投資総額: 約250億円(予定)



プラネット愛知 完成イメージ図⇒

## ■【参考】プラネット埼玉との能力比較

(P埼玉の数値は2022年9月末時点)

	プラネット愛知	プラネット埼玉
敷地面積	12,594坪(41,634㎡)	14,297坪
建物延べ面積	25,321坪 (83,706㎡)	12,915坪
在庫アイテム数	100万アイテム	約46万9千アイテム
入荷件数	—	約6,600行/日
出荷件数	(目標値)100,000行/日	約17,100行/日
従業員数	—	約200名

**TRUSCO**<sup>®</sup>

# D.各種 重要指標

P27	D-1.商品
P28-29	D-2.販売
P30-31	D-3.物流
P32	D-4.デジタル
P33	D-5.人事



# D-1.重要指標(商品)

■トラスコ オレンジブック.Com TRUSCO オレンジブック.Com® 工場・作業現場のプロツール総合サイト  
 公開アイテム数 **298万5,038**アイテム

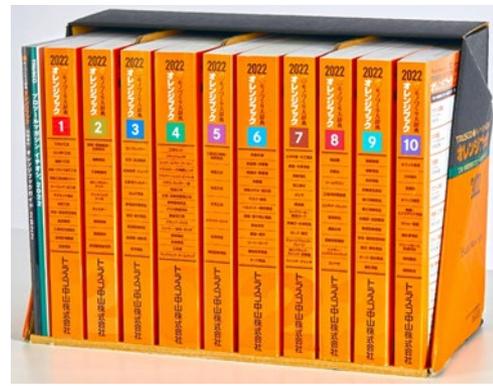
プロツール調達に必要な情報が全て揃った商品検索サイト  
 ・SDS(安全データシート)  
 ・図面  
 ・商品見積りや注文 (24時間対応)  
 ・返品依頼(24時間対応)  
 ・リアルタイム在庫確認



■トラスコ オレンジブック TRUSCO モノづくり大辞典 オレンジブック®  
 掲載メーカー数 **1,948**社  
 掲載アイテム数 **50万8,000**アイテム

あらゆる製造現場で活用される「モノづくり大辞典」  
 (2022年版)

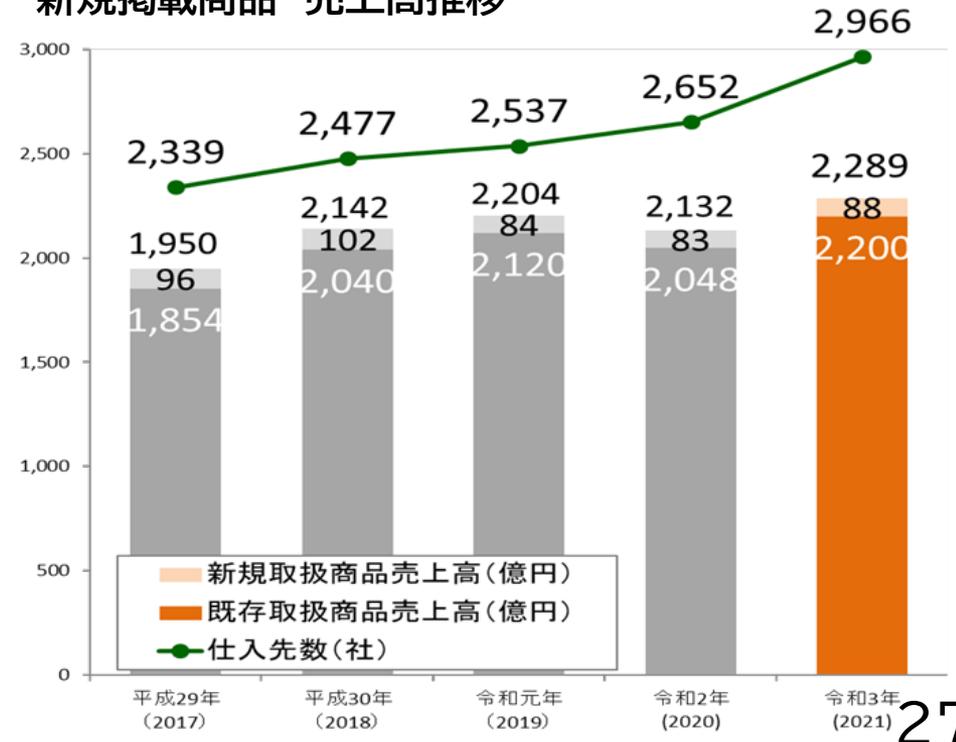
在庫商品数 : 42万9,000点  
 総ページ数 : 1万6,824ページ  
 年間発行部数 : 19万部  
 サイズ : A4判



■在庫アイテム数 **54万5,547**アイテム  
 (内)商品自動採用数 **2万3,723**アイテム

売れ筋商品を自動在庫化  
 販売実績から在庫化すべき商品が自動で仕入先様に発注され、在庫化されます。売れ筋商品が自動で在庫化されることで得意先様へのサービスレベルが向上するとともに業務の効率化にもつながっています。

■【親単体】全社売上高におけるトラスコ オレンジブック 新規掲載商品 売上高推移



# D-2.重要指標(販売)

## I オレンジコマース

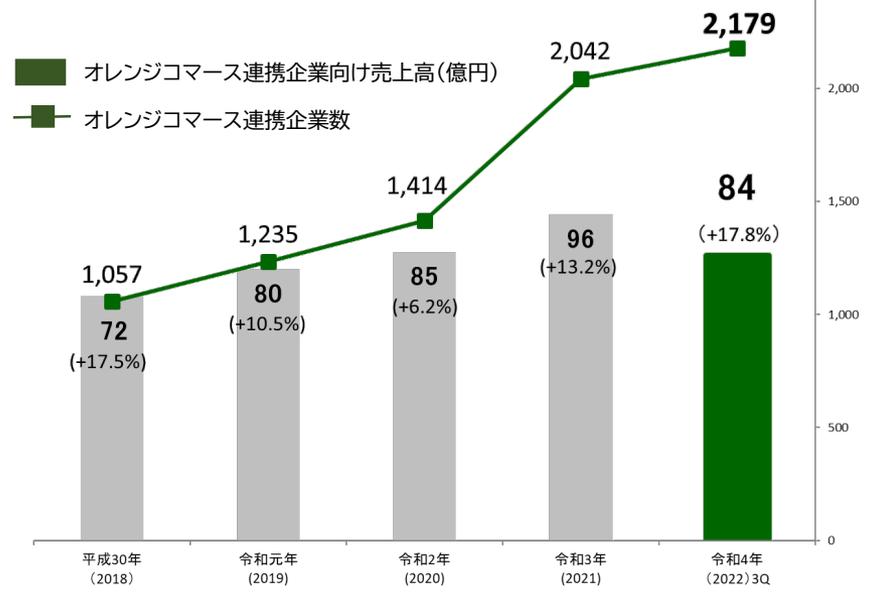


調達プロセスを効率化したユーザー様向け購買支援システム

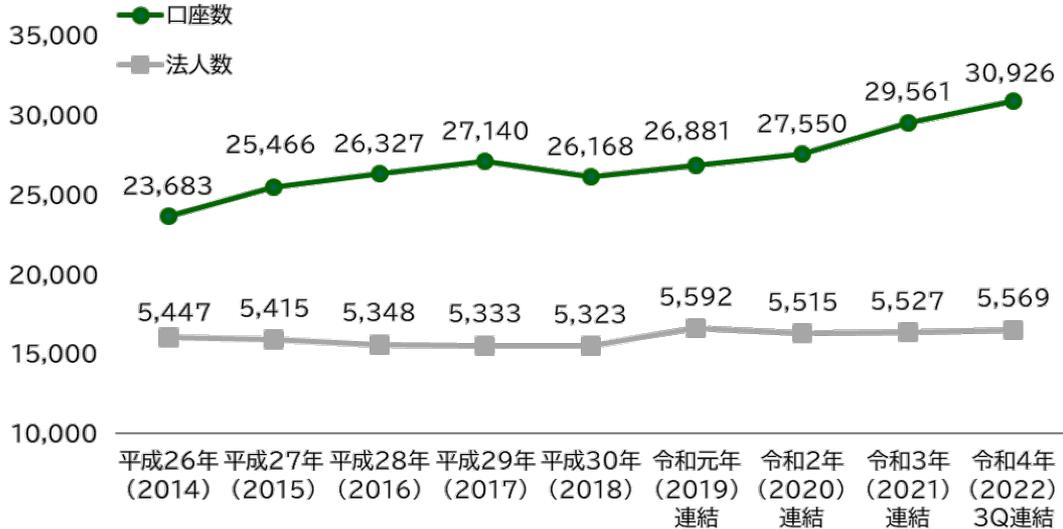
ユーザー様にご利用の購買システムと連携し、ユーザー様・得意先様・当社の3社間でお取引を行う購買支援システムです。導入により調達プロセスの見える化とコストの削減を実現。



## ● オレンジコマース(電子購買)連携企業数の推移



## ■【連結】販売口座数及び法人数の推移



## ■倒産による回収不能金額

年度	回収不能金額 (万円)
平成30年 (2018)	4
令和元年 (2019)	0
令和2年 (2020)	0
令和3年 (2021)	275
令和4年 (2022) 3Q	0

# D-2.重要指標(販売)

■置き薬ならぬ置き工具「MROストッカー」

現在商談中 286件  
 2022年12月末時点 累計目標設置件数 1,409件  
 1件当たり月額売上目標 30万円

2022年9月末時点 導入件数：**584件**

「MROストッカー」は、日本で長年親しまれているビジネスモデル「置き薬」の工具版です。モノづくり現場に必要な商品がすぐに利用できる、究極のクイックデリバリー環境を実現します。ユーザー様がモノづくりにおいて日々使用する消耗品が在庫されており、製造現場の「今すぐ欲しい」という声に応えます。また、代金はご使用分のみの請求となり、ユーザー様は場所のご提供だけで在庫リスクを負うことなく、利用できます。



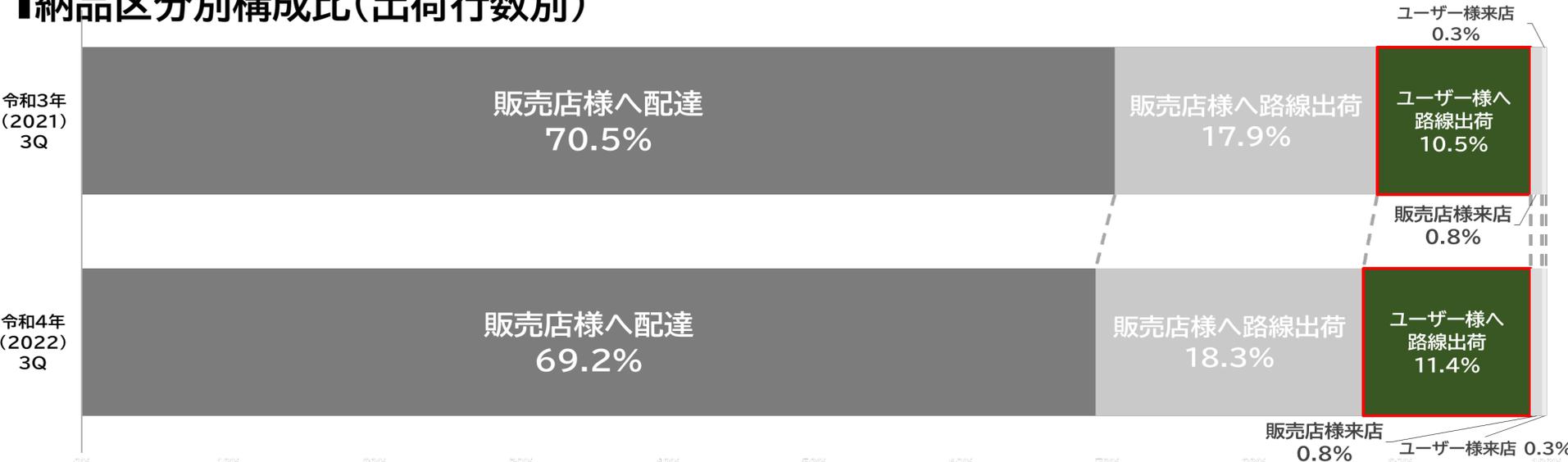
## ●運用フロー

自動在庫発注・受注情報を連携



# D-3.重要指標(物流)

## ■納品区分別構成比(出荷行数別)

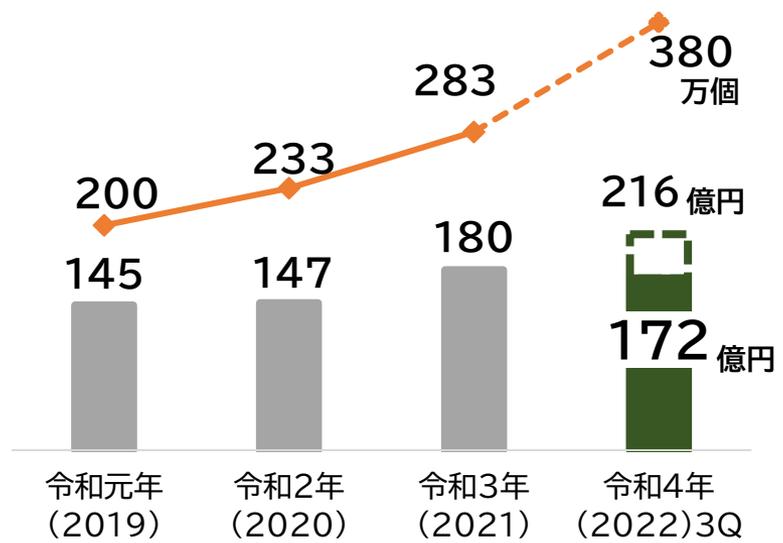


## ■ユーザー様直送サービスについて

通販企業様による商品調達がモノづくり現場で浸透するにつれ、ユーザー様直送の依頼が急激に増加しています。通販企業様各社とのお取り組みの伸長や業界全体の人手不足、ユーザー様からの納期短縮要請などを鑑みると、今後もユーザー様直送件数/個口数が増え続けるのは確実であり、直送体制の強化が必須と考えています。

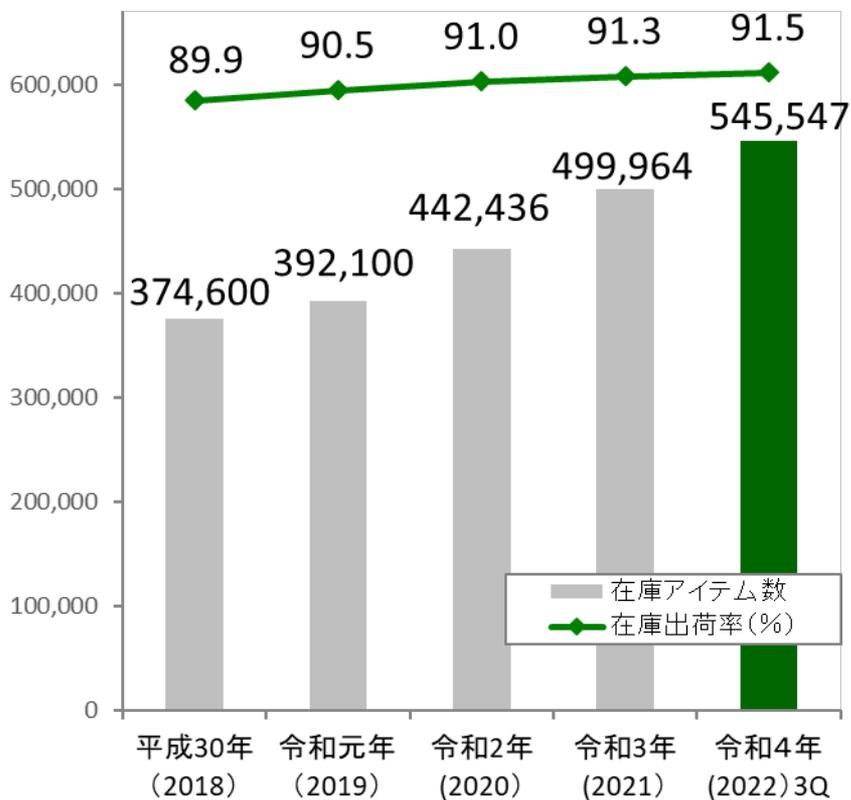
**I-Pack®**  
 [高速自動梱包出荷ライン]  
 出荷能力 : 720CS/h(1ライン)、約24人分  
 導入センター: プラネット東北、  
 プラネット埼玉(3ライン)  
 プラネット東海、プラネット大阪 計6ライン

## ■ユーザー様直送サービスの推移 (単位:億円、万個)



# D-3.重要指標(物流)

## ■在庫アイテム数と在庫出荷率



## ■納品リードタイム

2022年8月末時点:19時間49分43秒  
(前期末比△55分10秒)

## ■入出荷1行あたり人件費

2022年8月末時点:119円(前期末比+2円)

## ■【親単体】在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和2年(2020)	令和3年(2021)
廃棄金額(百万円)	41	39	42	50	55
在庫金額(億円)	318	370	427	406	416
廃棄率(%)	0.13	0.11	0.10	0.12	0.13

## ■配達便・社内間輸送便 台数

	台数	前期末比
<b>総配達便数</b>	<b>280台</b>	<b>+2台</b>
備車便(契約配達便)	161台	±0台
自社配達便	119台	+2台
<b>社内間輸送便</b>	<b>30台</b>	<b>±0台</b>
備車便(契約便)	26台	△1台
自社便	4台	+1台
<b>配達便・社内間輸送便 計</b>	<b>310台</b>	<b>+2台</b>

### 配達便について

配送ルートや在庫の社内移動を効率化することで配達便・社内間輸送便の見直しをすすめ、台数の適正化を図っています。

また、お客様へのサービス向上を目指し、自社配達便(当社社員による配達便)の台数を増やしています。現在の自社便率は42.5%です。2024年には自社便率を50%まで高めていく予定です。

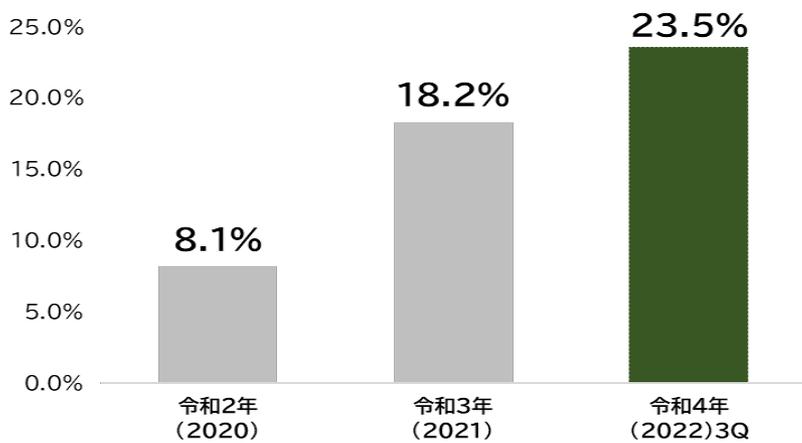
# D-4.重要指標(デジタル)

## AI見積「即答名人」

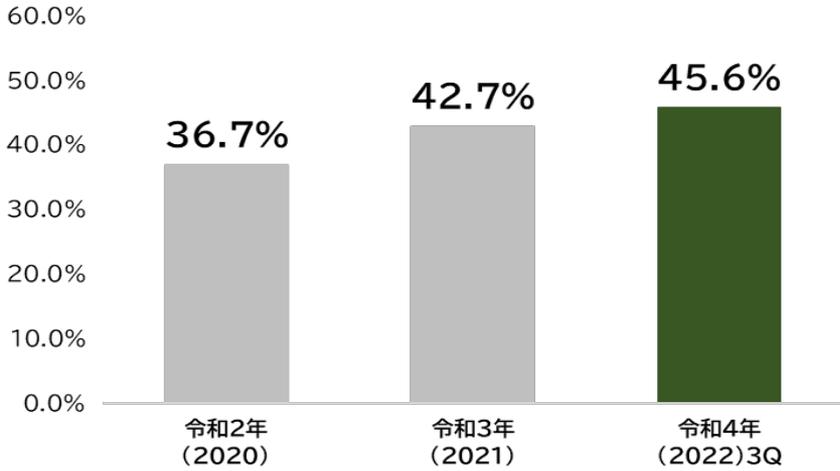
### AIを活用し、見積を自動化

受注・見積実績をもとに、定期的に商品の適正価格を自動計算する特価最適化をすることで見積の自動化を推進。得意先様への回答スピード向上(最短5秒)に繋がっています。

### ●見積自動化率



### ●WEB見積依頼率



## システム受注率

受注実績	受注行数(千行)	行数占有率	行数占有率前期末比(pt)	受注金額(百万円)	金額占有率	金額占有率前期末比(pt)
トラスコ オレンジブック.Com (販売店様、ユーザー様用)インターネット受発注	11,331	38.8%	△1.0	75,931	42.1%	±0.0
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	6,345	21.7%	+0.1	24,506	13.6%	+0.6
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	689	2.4%	+0.3	4,752	2.6%	+0.3
EOS ホームセンター電子発注システム	6,483	22.2%	+0.6	14,346	7.9%	+0.4
計	24,849	85.1%	△0.2	119,535	66.2%	+1.2

# D-5.重要指標(人事)

## ■社員数【連結】 令和4年(2022)9月末現在 (単位:名)

	女	男	合計	前年同月比
役員	1	9	10	△1
執行役員	0	1	1	△1
キャリア(海外・国内)	157	421	578	△8
キャリア(地域)	1	7	8	+8
デジタルキャリア	0	0	0	±0
ロジスキャリア	0	0	0	±0
エリア	300	298	598	+15
ロジスエリア	3	19	22	+22
スペシャリスト	13	13	26	△2
エキスパート	0	0	0	±0
ロジス	85	250	335	△9
サポート	0	0	0	△25
契約社員	1	37	38	+5
現地法人	19	25	44	+2
健康保険組合出向者	2	0	2	±0
中山財団出向者	0	1	1	+1
社員計(役員含まず)	581	1,072	1,653	+8
パート	975	349	1,324	+87
従業員計	1,557	1,430	2,987	+94

女性社員比率35.1%/女性セールス48人/女性キャリア比率27.0%  
 ※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

## ■入社者数および退職者数

	平成30年 (2018)【親単体】		令和元年 (2019)【連結】		令和2年 (2020)【連結】		令和3年 (2021)【連結】		令和4年 (2022)3Q【連結】	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数(名)	557	1,051	585	1,071	589	1,085	571	1,061	581	1,072
	1,608		1,656		1,674		1,632		1,653	
入社者(名)	63	72	52	57	41	46	26	25	44	48
	135		109		87		51		92	
退職者(名)	20	26	42	44	37	33	45	45	34	32
	46		86		70		90		66	
離職率(%)	3.5	2.4	6.7	3.9	5.9	3.0	7.3	4.1	5.5	2.9
	2.8		4.9		4.0		5.2		3.8	

## ■平均年齢・年収

	平均年齢(歳)			平均年収(万円)			
	女	男	全体	キャリア	エリア	ロジス	全体
令和3年 (2021)	32.8	43.2	39.6	724	596	456	615
令和2年 (2020)	32.1	41.9	38.4	721	601	461	619
令和元年 (2019)	31.3	42.0	38.2	758	642	492	655
平成30年 (2018)	30.9	42.1	38.2	804	680	520	701
平成29年 (2017)	30.7	42.7	38.6	805	696	541	715

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額  
 ※平成26年度より業績連動型賞与を支給開始。令和元年(2019)より業績連動型賞与中止のため減額。  
 ※令和元年(2019)12月期より連結決算開始のため、令和元年(2019)12月期より平均年齢は連結、平均年収は全て単体のデータ。

The TRUSCO logo is displayed in a bold, green, sans-serif font. A registered trademark symbol (®) is located to the right of the word "TRUSCO".

**TRUSCO®**

# E.第60期 経営計画

P35 E-1.【連結】経営計画

P36 E-2.【連結】四半期ごとの実績・予算(四半期)

P37 E-3.【連結】四半期ごとの実績・予算(累計)



# E-1.【連結】経営計画

## ◆予算策定について

予算は「全国の支店長が策定した支店年間予算」の合計を全社予算として採用しています。マーケットを熟知した支店長が、人員配置を含めた戦略を練り実行し、自身が最終責任をとるという意味で予算策定をしています。

(単位:百万円)

	令和3年(2021) 12月期 実績	令和4年(2022) 12月期 予算	構成比	前年比
売上高	226,833	243,500	100.0%	+7.3%
売上総利益	47,670	51,720	21.2%	+8.5%
販売費及び一般管理費	34,673	37,470	15.4%	+8.1%
(うち、減価償却費)	6,929	6,853	2.8%	△1.1%
営業利益	12,997	14,250	5.9%	+9.6%
経常利益	13,555	14,600	6.0%	+7.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,596	9,960	4.1%	△14.1%
一株当たり配当金	35円50銭	38円00銭	—	—

令和3年の各数値については、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。  
令和3年12月期には不動産の売却を行ったため、約34億円が特別利益として計上されています。

## E-2.【連結】四半期毎の予算・実績(四半期)

■令和4年(2022)12月期 第3四半期【四半期ごと】

(単位:百万円、%)

		第1四半期(△1日)			第2四半期(±0日)			第3四半期(+3日)			第4四半期(+1日)		
		金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
売上高	予算	61,130	100.0	+6.1	59,543	100.0	+ 8.2	59,442	100.0	+ 9.6	63,385	100.0	
	実績	61,159	100.0	+6.1	59,524	100.0	+ 8.2	60,241	100.0	+ 11.1			
売上総利益	予算	12,652	20.7	+2.1	12,602	21.2	+ 5.4	12,532	21.1	+ 14.3	13,934	22.0	
	実績	12,883	21.1	+3.9	12,495	21.0	+ 4.5	12,376	20.5	+ 12.9			
販売費及び一般管理費	予算	9,257	15.1	+7.9	9,281	15.6	+ 9.5	9,273	15.6	+ 6.6	9,659	15.2	
	実績	9,395	15.4	+9.5	10,050	16.9	+ 18.6	9,175	15.2	+ 5.5			
営業利益	予算	3,395	5.6	△11.0	3,321	5.6	△ 4.8	3,259	5.5	+ 43.9	4,275	6.7	
	実績	3,488	5.7	△8.6	2,445	4.1	△ 29.9	3,200	5.3	+ 41.4			
経常利益	予算	3,429	5.6	△14.7	3,502	5.9	△ 5.2	3,287	5.5	+ 41.6	4,382	6.9	
	実績	3,671	6.0	△8.6	2,475	4.2	△33.0	3,253	5.4	+ 40.1			
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	予算	2,334	3.8	△14.5	2,387	4.0	△ 5.4	2,242	3.8	△ 0.0	2,997	4.7	
	実績	2,534	4.1	△7.1	1,715	2.9	△ 32.0	2,220	3.7	△ 1.0			

令和3年12月期第1四半期、第2四半期、第3四半期の各数値については、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。

# E-3.【連結】四半期毎の予算・実績(累計)

令和4年(2022) 12月期 第3四半期【累計】

(単位:百万円、%)

		第1四半期(Δ1日)			第2四半期(Δ1日)			第3四半期(+2日)			通期(+3日)		
		金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年比
売上高	予算	61,130	100.0	+6.1	120,673	100.0	+7.1	180,115	100.0	+7.9	243,500	100.0	
	実績	61,159	100.0	+6.1	120,683	100.0	+7.1	180,924	100.0	+8.4			
売上総利益	予算	12,652	20.7	+2.1	25,254	20.9	+3.7	37,786	21.0	+7.0	51,720	21.2	
	実績	12,883	21.1	+3.9	25,379	21.0	+4.2	37,755	20.9	+6.9			
販売費及び一般管理費	予算	9,257	15.1	+7.9	18,538	15.4	+8.7	27,811	15.4	+8.0	37,470	15.4	
	実績	9,395	15.4	+9.5	19,445	16.1	+14.0	28,621	15.8	+11.1			
営業利益	予算	3,395	5.6	Δ11.0	6,716	5.6	Δ8.1	9,975	5.5	+4.2	14,250	5.9	
	実績	3,488	5.7	Δ8.6	5,933	4.9	Δ18.8	9,134	5.0	Δ4.5			
経常利益	予算	3,429	5.6	Δ14.7	6,931	5.7	Δ10.1	10,218	5.7	+1.8	14,600	6.0	
	実績	3,671	6.0	Δ8.6	6,147	5.1	Δ20.3	9,400	5.2	Δ6.3			
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	予算	2,334	3.8	Δ14.5	4,721	3.9	Δ10.1	6,963	3.9	Δ7.1	9,960	4.1	
	実績	2,534	4.1	Δ7.1	4,250	3.5	Δ19.1	6,470	3.6	Δ13.7			

令和3年12月期第1四半期、第2四半期、第3四半期の各数値については、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。

**TRUSCO**<sup>®</sup>

# F. ESG情報

P39 F-1. TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト

P40 F-2. 重要課題

P41 F-3.サステナビリティに関する指標



# F-1. TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト

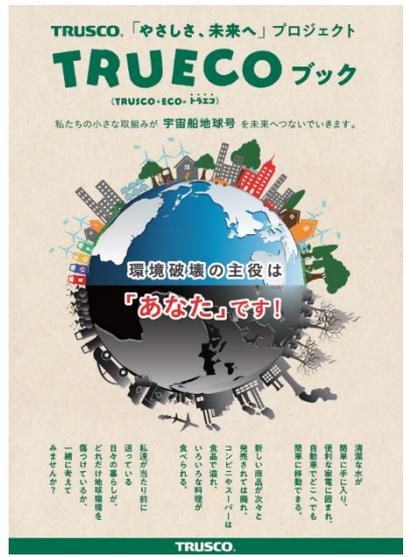


## ■TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト

当社では、「私たちの小さな小さな取り組みが、未来の大きな思いやりにつながるよう、地球に優しい企業を目指します」という想いから、1998年に「やさしさ、未来へ」という環境理念を掲げ、さまざまな環境への取り組みを行ってきました。

サステナビリティという言葉が広まる20年以上前から、地球社会を未来へつないでいくという考えが会社に根付いてきているのです。

これまで、「やさしさ、未来へ」は環境のみを指す言葉でしたが、これからは、TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクトとして地球環境も含めたヒトと社会の未来へ向けた取り組みを行っていきます。



## ■「やさしさ、未来へ」基本方針 ~TSV~

「人や社会のお役に立ててこそ事業であり、企業である」というところざしのもと、事業を通じて社会価値と企業価値の両方を生み出すことで、社会課題の解決や持続可能な地域社会へ貢献します。

※TSVIはTRUSCO+CSV(Creating Shared Value:共有価値の創造)から命名しています。

**この基本方針のもと、ヒトと社会の未来へ向けた取り組みを行っていきます。**

## F-2. 重要課題

### ■重要課題 ー環境負荷の少ない持続可能な企業であるためにー

基本方針(TSV)をもとにサステナビリティ上の重要課題を特定しました。これらの重要課題に事業を通じて取組み、持続可能な社会へつなげていきます。

#### ①サプライチェーンの全体最適化

モノづくりを支えるプラットフォームとなり、サプライチェーンを最適化することで、人にも環境にも優しいサステナブルなプロツール流通を実現します。

#### ②多様化するニーズに応える商品の企画・開発

多様化するモノづくり現場のニーズ、トレンドを捉え、当社オリジナルの価値をPB商品開発で提供することで、モノづくりの合理化や、生産性向上、競争力強化に貢献します。

#### ③個人の能力を最大限発揮できる環境整備と人材育成

モチベーションを常に高く保ち、一人ひとりが持つ能力を十分に発揮できる環境を整えることで、企業の成長につなげます。

#### ④事業活動を通じた環境への取組み

当社では事業活動、PB製品などにおいて、自社のみでなく、自社製品を使用するユーザー様まで環境負荷軽減に貢献し、日本の製造業の環境活動のお役に立ちます。

#### ⑤縁ある人々・地域社会への貢献

障がい者支援、協賛や広告を通じた地域・社会とのコミュニケーションを通じて、縁ある人々との関係性を大切にします。

#### ⑥取捨善択を判断基準とするガバナンス

経営の公正性及び透明性を高め、迅速かつ的確な意思決定の下、法律、社会規範に則した事業活動を行います。

# F-3.サステナビリティに関する指標

■トラスコ発電所(太陽光、風力発電) 19か所

2021年年間発電量 2,604,757kWh

再生可能エネルギー電力自給率 16.5%

■CO<sub>2</sub>排出量(2021年末時点)

Scope1 1,941.4t-co<sub>2</sub>

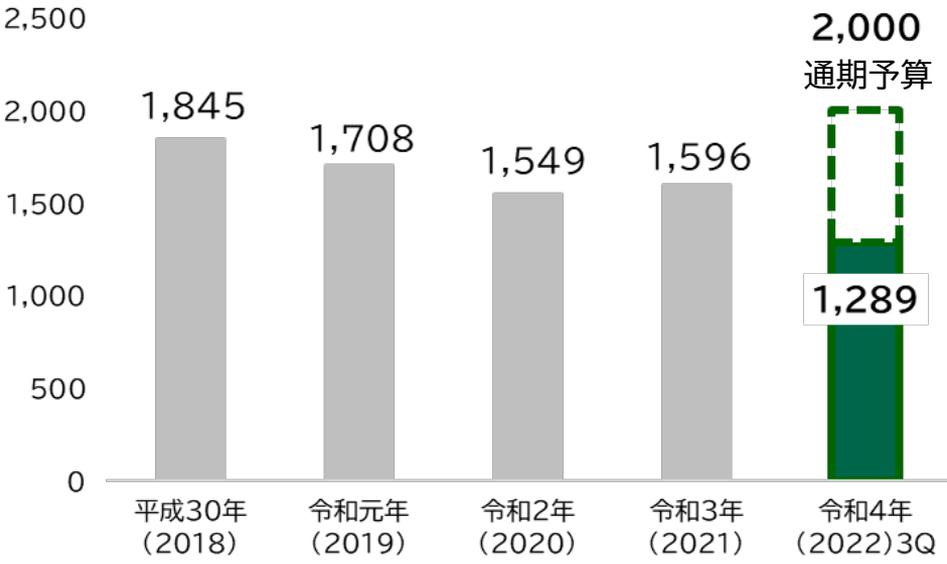
Scope2 7,154.2t-co<sub>2</sub>

## ■Scope3の開示について

当社はユーザー様直送サービスの取組み強化やMROストックの普及を通じてサプライチェーンの全体最適化に取組み、サプライチェーンの温室効果ガスの削減を進めてきました。それらの取組みを含め、現在Scope3の開示に向けた分析を進めており、段階的に開示できるよう努めてまいります。

## ■修理工房「直治郎(なおじろう)」売上高

(単位:百万円)



## ■「直治郎」の役割



「直治郎」はプロツールに欠かせない安全性や精度を維持し、使い慣れた工具・設備等を長く使うことで環境負荷を抑えるとともに、コスト削減に貢献することを目的としたサービスです。また配送ドライバーや営業担当者が随時商品を回収するため、基本的に得意先様の梱包の手間や送料は不要となり、プロツールの再利用と得意先様の効率を両立したサービスです。2022年1月からは直治郎課を再設し、サービスの浸透・向上に努めます。

### 修理工房「直治郎」8つのサービス

修理	再研磨	校正	リユース
加工	メンテナンス	組立	施工・設置

# TRUSCO®

## G.参考資料

P43 G-1.株式情報

P44 G-2.業界での指数比較

P45 G-3.当社売上高指数・鋁工業生産指数



# G-1. 株式情報

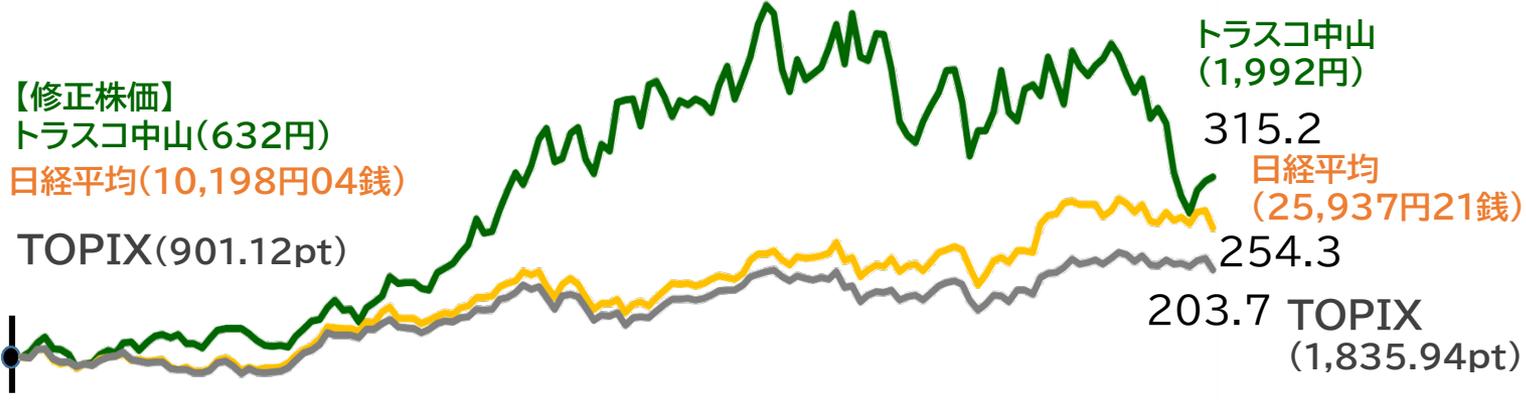
## 株主情報

(単位:名)

	令和元年 (2019) 12月末	令和2年 (2020) 6月末	令和2年 (2020) 12月末	令和3年 (2021) 6月末	令和3年 (2021) 12月末	令和4年 (2022) 6月末
株主合計	40,106	23,697	16,336	14,903	14,406	16,212
単元株主	39,494	22,887	15,514	14,030	13,527	15,190
単元未満株主	611	809	821	872	878	1,021
自己名義株式	1	1	1	1	1	1
金融機関・証券会社	61	64	65	69	61	59
国内法人	690	574	553	544	533	546
外国法人等	252	210	201	203	203	212
個人その他	39,102	22,848	15,516	14,086	13,608	15,394
自己名義株式	1	1	1	1	1	1

## 株価指数の推移

平成22年(2010)1月を100とした場合の各指標の動きを数値化しています。



2022年10月25日(火)  
 当社株価 終値  
 2,020円  
 日経平均株価 終値  
 27,250円28銭  
 TOPIX  
 1,907.14pt

平成22年(2010)1月

令和4年(2022)9月

## G-2.業界での指数比較

### ■同業界の商社、直販企業(上場企業)の業績

機械工具業界の商社には下記のような企業がありますが、卸売業・小売業で事業展開が異なり、それぞれ取扱う主力商品も異なっています。当社は工作機械などの大型機械の取扱いは無く、消耗品の取扱いが中心です。

【卸売】	決算月			売上高(百万円)	前年比	時価総額 (億円)
	年	月	種別			
株山善	2023年	3月	予想	530,000	+ 5.6	800
ユアサ商事(株)	2023年	3月	予想	490,000	+ 5.9	802
トラスコ中山(株)	2022年	12月	予想	243,500	+ 7.3	1,333
株日伝	2023年	3月	予想	127,000	+ 2.4	538
フルサト・マルカHD(株)	2022年	12月	予想	158,000	-	920
株NaITO	2023年	2月	予想	48,500	+ 11.2	85
杉本商事(株)	2023年	3月	予想	45,150	+ 4.7	191
7社合計		—		1,642,150	+ 5.3	4,669

【小売】	決算月			売上高(百万円)	前年比	時価総額 (億円)
	年	月	種別			
株ミスミグループ	2023年	3月	予想	403,500	+ 10.2	9,015
株MonotaRO	2022年	12月	予想	226,073	+ 19.2	11,190
2社合計		—		629,573	+ 29.4	20,205

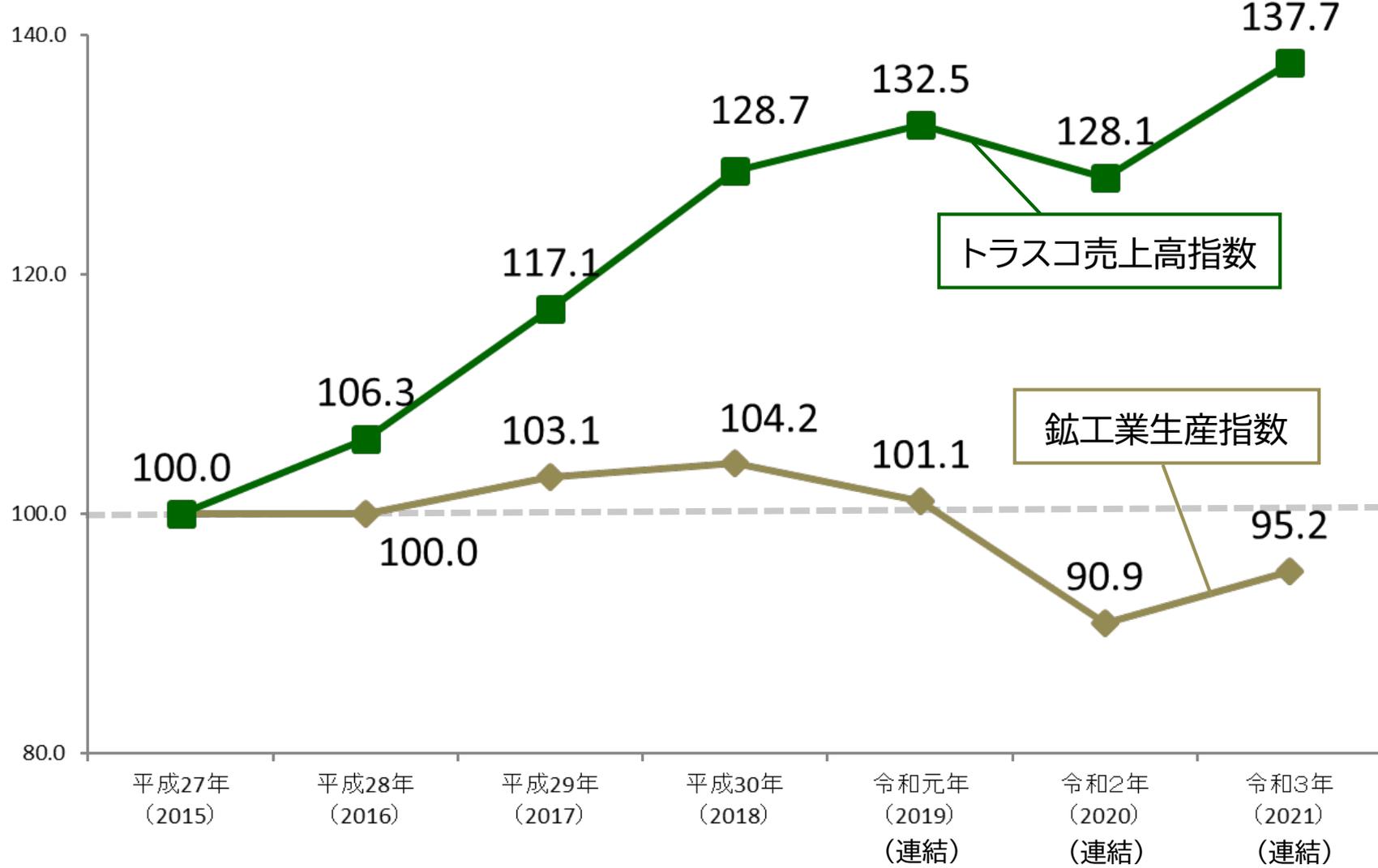
※連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載しています。

※各数値は令和4年(2022)10月25日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。

※時価総額は、令和4年(2022)10月25日の終値にて記載しています。

# G-3.当社売上高指数・鋳工業生産指数

## 当社売上高指数及び鋳工業生産指数の推移



※指数基準:平成27年(2015)を100とする  
※鋳工業生産指数は令和4年(2022)1月31日に経済産業省より公表された数値